年間授業計画　新様式

八王子北　高等学校 令和７年度　　教科　　地理歴史　　科目 世界史探究

教　科：地理歴史　　科　目：世界史探究　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校世界史探究 （山川出版社）　　）

教科　地理歴史科　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
A 単元 第Ⅰ部　諸地域の歴史的特質の形成 1　文明の成立と古代文明の特質 2　中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 諸地域における政治・経済・文化の特色とその現代的影響を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域における政治・経済・文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明の歴史的特質と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認させる。	・指導事項 1. 文明の誕生 2. 古代オリエント文明とその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明 5. 南北アメリカ文明 1. 中央ユーラシア 2. 秦・漢帝国 3. 北方民族の活動と中国の分裂 4. 東アジア文化圏の形成 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 諸地域における政治・経済・文化の特色とその現代的影響を理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域における政治・経済・文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明の歴史的特質と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	○	○	○	7
B 単元 3　南アジア世界と東南アジア世界の展開 4　西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 諸地域における政治・経済・文化の特色とその現代的影響を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域における政治・経済・文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明の歴史的特質と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認させる。	・指導事項 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. ギリシア世界 3. ローマと地中海支配 4. キリスト教の成立と発展 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 諸地域における政治・経済・文化の特色とその現代的影響を理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域における政治・経済・文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明の歴史的特質と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

1学期	C 単元 5　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 6　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】 軍事征服を通し、 イスラーム領域が西アジア全体、北インドと拡大してゆき、軍事征服された地域の文化や社会を変容させていく状況について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 軍事征服による領域の拡大とその経緯を、周辺諸地域の状況と関連付けたりしながら多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究させる。	・指導事項 1. アラブの大征服とカリフ政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 1. イスラーム教の諸地域への伝播 2. 西アジアの動向 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 軍事征服を通し、 イスラーム領域が西アジア全体、北インドと拡大してゆき、軍事征服された地域の文化や社会を変容させていく状況について理解している。 【思考・判断・表現】 軍事征服による領域の拡大とその経緯を、周辺諸地域の状況と関連付けたりしながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	D 単元 7　ヨーロッパ世界の変容と展開 8　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 西ヨーロッパにおける王朝、文化、宗教のあり方や展開を確認し、ヨーロッパ世界形成の多様性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 フランク王国の形成と分裂に至る過程、封建社会の成立ローマ＝カトリック教会の力の伸長などを比較したり関連付けたりして、西ヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界形成の意味を、西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認させる。	・指導事項 1. 西ヨーロッパの封建社会 2. 東ヨーロッパ世界 3. 西ヨーロッパ世界の変容 4. 中世文化 1. 宋とアジア諸地域の自立化 2. モンゴルの大帝国 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 西ヨーロッパにおける王朝、文化、宗教のあり方や展開を確認し、ヨーロッパ世界形成の多様性を理解している。 【思考・判断・表現】 フランク王国の形成と分裂に至る過程、封建社会の成立ローマ＝カトリック教会の力の伸長などを比較したり関連付けたりして、西ヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ世界形成の意味を、西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	E　単元 9　大交易・大交流の時代 10　アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 ヨーロッパ人の海洋進出を機に「世界の一体化」が始まり、ヨーロッパでは「商業革命」が展開した状況を理解させる。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパの海洋進出が押し進めた「世界の一体化」をヨーロッパ・アジア・中南米それぞれに対する影響の違いという観点から多面的・多角的に考察し、理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明朝が形成した朝貢貿易と中国の交易のあり方を、ヨーロッパの交易のあり方と比較、関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認させる。	・指導事項 1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容 1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 ヨーロッパ人の海洋進出を機に「世界の一体化」が始まり、ヨーロッパでは「商業革命」が展開した状況を理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパの海洋進出が押し進めた「世界の一体化」をヨーロッパ・アジア・中南米それぞれに対する影響の違いという観点から多面的・多角的に考察し、理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明朝が形成した朝貢貿易と中国の交易のあり方を、ヨーロッパの交易のあり方と比較、関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	○	○	○	9
	F　単元 11　近世ヨーロッパ世界の動向 12　産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 産業革命の結果、世界経済の再編成がおこなわれたことを理解させる。 【思考・判断・表現】 イギリスが世界経済の再編成を促すとともに各国の産業革命に影響を与えたことを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と環大西洋革命で探究したことを踏まえ、現代社会への影響と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認させる。	・指導事項 1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想 1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 産業革命の結果、世界経済の再編成がおこなわれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 イギリスが世界経済の再編成を促すとともに各国の産業革命に影響を与えたことを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と環大西洋革命で探究したことを踏まえ、現代社会への影響と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	○	○	○	9
	定期考査						1
2学期	G　単元 13　イギリスの優位と欧米国民国家の形成 14　アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 ウィーン体制下に形成された列強体制が20世紀初めまで持続し、ヨーロッパ中心部では平和と安定した国際環境が維持されたことを理解させる。 【思考・判断・表現】 ウィーン体制下の各国の政治体制を比較したり、各地の抵抗運動と関連付けたりして、ヨーロッパの新しい国威秩序について多角的・多面的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求させる。	・指導事項 1. ウィーン体制と政治・社会の変動 2. 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 1. 西アジア地域の変容 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 ウィーン体制下に形成された列強体制が20世紀初めまで持続し、ヨーロッパ中心部では平和と安定した国際環境が維持されたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ウィーン体制下の各国の政治体制を比較したり、各地の抵抗運動と関連付けたりして、ヨーロッパの新しい国威秩序について多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	10
	H　単元 15　帝国主義とアジアの民族運動 16　第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 第２次産業革命とその影響、列強の帝国主義政策と国内問題、国際的社会主義運動の展開など、帝国主義時代の世界を理解させる。 【思考・判断・表現】 第2次産業革命が欧米社会におよぼした影響、列強の植民地獲得競争と国内の諸問題について、多角的・多面的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米列強の帝国主義政策とアジア諸地域の民族運動を関連づけて追求し、何を明らかにできたか、何を学ばなければならないかを自身で確認させる。	・指導事項 1. 第２次産業革命と帝国主義 2. 世界再分割と列強の対立 3. アジア諸国の変革と民族運動 1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 第２次産業革命とその影響、列強の帝国主義政策と国内問題、国際的社会主義運動の展開など、帝国主義時代の世界を理解している。 【思考・判断・表現】 第2次産業革命が欧米社会におよぼした影響、列強の植民地獲得競争と国内の諸問題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米列強の帝国主義政策とアジア諸地域の民族運動を関連づけて追求し、何を明らかにできたか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	○	○	○	10
	定期考査						1

3学期	I　単元 17　第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 18　冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】 第二次世界大戦におけるヨーロッパの戦争、独ソ戦、太平洋戦争の展開および枢軸国の敗北と終戦の過程について理解させる。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究させる。	・指導事項 1. 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2. 第二次世界大戦 3. 新しい国際秩序の形成 1. 冷戦の展開 2. 第三世界の台頭とキューバ危機 3. 冷戦体制の動揺 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 第二次世界大戦におけるヨーロッパの戦争、独ソ戦、太平洋戦争の展開および枢軸国の敗北と終戦の過程について理解している。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	○	○	○	14
	J　単元 19　冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 冷戦終結宣言が世界におよぼした影響と、冷戦下での資本主義と社会主義の対立が、ソ連の消滅により資本主義の勝利で終わったことを理解させる。 【思考・判断・表現】 ・冷戦終結後の米ソの社会を比較したり、市場経済への移行をソ連の消滅と関連づけたりして、冷戦終結後の世界について多角的・多面的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求させる。	・指導事項 1. 産業構造の変容 2. 冷戦の終結 3. 今日の世界 4. 現代文明の諸相 ・教材 教科書・ワークシート ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 冷戦終結宣言が世界におよぼした影響と、冷戦下での資本主義と社会主義の対立が、ソ連の消滅により資本主義の勝利で終わったことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・冷戦終結後の米ソの社会を比較したり、市場経済への移行をソ連の消滅と関連づけたりして、冷戦終結後の世界について多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						1
						合計	105